

元屋敷遺跡出土品の保管、展示は・・・

縄文の里・朝日 奥三面歴史交流館



ご利用の案内

開館時間 午前9:00～午後4:30
休館日 月曜日・年末年始（12/28～1/4）

お問合せ

〒958-0241 新潟県村上市岩崩612-118
TEL 0254 (72) 1577 FAX 0254 (60) 2025
ホームページ <http://www.iwafune.ne.jp/~joumon>
メールアドレス joumon@mail.iwafune.ne.jp

人気の体験メニュー その2 土器づくり



縄文時代の代表的な道具である縄文土器と同じ作り方を学びながら、楽しく自分オリジナルの縄文土器を作ることができます。200g（湯のみサイズ）と400g（どんぶりサイズ）があります。縄文人の技やデザインを体験できます。



編集発行
村上市教育委員会
生涯学習課 文化行政推進室
〒958-0854
新潟県村上市田端町4番25号
村上市教育情報センター内
TEL 0254-53-7511
FAX 0254-52-4133
E-mail bunka@city.murakami.lg.jp

本リーフレットは、令和4年度文化財保存事業（国庫補助）により作成しました。

重要文化財 新潟県元屋敷遺跡出土品



保存修理事業

もとやしきいせき ■元屋敷遺跡は縄文時代後期から晩期、今からおよそ4,400～2,400年前の大規模な集落遺跡です。遺跡は新潟県村上市三面に所在し、県営奥三面ダム建設で遺跡全体が水没するために、平成3～5年度および8～10年度の6カ年をかけ、遺跡全域に及ぶ33,100㎡を発掘調査しました。調査では多くの住居跡やお墓跡と一緒に、土器・土製品がコンテナ箱で約3,500箱、石器・石製品が約2,200箱、動植物遺体が約100箱出土しました。

■その中で特に重要な土器186点、土製品101点、石器957点、石製品466点、漆塗木製品2点、骨角器6点の計1,718点が、平成27年9月4日に、国の重要文化財に指定されました。

■村上市では、これら貴重な国民の財産を適切に保存・活用することを目的に、文化庁の指導と国庫補助金の交付を受けて、平成29年度から出土土器の保存修理事業を継続して行っています。

土器修理の手順

ゆがんで復元した土器を、重要な考古資料として、また、縄文人が作った美術工芸品として、本来の姿に近い形に修理します。

かい たい 破片の状態に解体し、汚れをクリーニングします。風化した器面や漆・炭化物等の付着物はパラロイド溶液で固定させます。



せつ ぎょう ゆがみがでないよう注意しながら、解体した破片を接合します。接着剤はエポキシ樹脂、パラロイド溶液とマイクロバルーン及び顔料を混合したものを使います。



じゅうてん 欠損部分はエポキシ樹脂を充填します。縄文時代に破損後も修復して使用した痕跡（ヒビ割、補修孔）は充填せずに当時の状態を表現します。



わりつけ 残っている破片に見られる文様のレイアウトを参考に、欠損部分に充填した樹脂範囲に文様を付けます（＝文様割付）。



ほ さい 接合や充填部分は、アクリル顔料で色付けします。実物よりも明るくするなど補彩部分が区別できるよう仕上げました。

